

EASTS-ITF 特別セミナー

激変する環境下における

交通部門の脱炭素化に向けた展望

2022年12月13日

13:30-16:00 日本時間 (協定世界時+9)

ハイブリッドイベント (オンサイト・オンライン)

同時通訳付 (英語・日本語)

一橋大学一橋講堂

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター



目的

OECD 国際交通フォーラム（ITF）は、すべての交通モードを網羅する唯一のグローバルな機関として、業務プログラム、政策分析、研究能力、専門家や関係者の幅広いネットワークを通じて、交通に関する多様な目標やビジョンをサポートし、ITF 加盟国に価値をもたらしています。

ITF は、各国政府だけでなく、国際機関、市民社会、大学、研究機関、モビリティ関連企業など、多様なステークホルダーとの政策協議のための国際的なプラットフォームを提供しています。交通政策の議論だけでなく、政策を如何に実行に移すかについても焦点が当てられており、研究と政策の実行・実践との連携を確保することは重要な課題となっています。

ITF は、加盟国の一つである日本のステークホルダーと密接に連携しています。例えば、2021 年 10 月には、日本の状況に焦点を当てた MaaS の展開に関するウェビナーを持続可能な開発のための世界経済人会議（WBCSD）と共催し、研究者や実務家、政府関係者など、様々なステークホルダーと交流を図りました。

今回の特別セミナーは、ITF 事務局長のヨンテ・キムの来日を機に、ITF と、日本の交通研究分野で最も影響力のある団体の一つであるアジア交通学会（EASTS）が共同で開催することになりました。（一財）運輸総合研究所に共催いただいております、また、国土交通省に後援いただいております。

セミナーでは、ITF の最新の政策研究および取組みについて発表し、その後、交通の脱炭素化に焦点を当てたパネルディスカッションを開催します。

私達は、新型コロナウイルス感染症やエネルギー危機などの緊急かつ重大な課題に直面していますが、脱炭素化や持続可能性や包摂性の確保といった長期的な課題にも引き続き取り組んでいかなければなりません。EASTS と ITF が共催するこの特別セミナーでは、世界の交通トレンドと日本の政策・研究の取組みを対比させることで、日本における関連する議論を深めることを想定しています。

プログラム

2022年12月13日 13:30-16:00 日本時間 (協定世界時+9)

一橋大学一橋講堂およびオンライン

同時通訳あり (英語・日本語)

13:30- 13:40	開会挨拶・イントロダクション モデレータ: 花岡 伸也 教授 , EASTS-Japan 事務局長/東京工業大学教授 <ul style="list-style-type: none">▪ 山内 弘隆 教授, 一般財団法人運輸総合研究所所長▪ 平岡 成哲 氏, 国土交通省国際統括官
13:40- 14:10	基調講演：ITF のアウトリーチ活動および研究活動に関する発表 ITF 事務局長のヨンテ・キムが、ITF が掲げる交通における 5 つの主要な優先事項（アクセシビリティ、コネクティビティ、脱炭素、デジタル化、安全・セキュリティ）を中心に、ITF の最近の取組みと研究活動について紹介します。64 の加盟国からなるグローバルなプラットフォームである ITF は、世界の多くの地域、特にアジアにおいてアウトリーチ活動に注力しており、多くのプロジェクトを実施し、各国政府、研究機関、ビジネスリーダーと密接に連携しています。また、ITF の主要レポートである「ITF Transport Outlook 2021」の日本語版の出版を併せて発表します。 <ul style="list-style-type: none">▪ ヨンテ・キム 氏, 国際交通フォーラム (ITF) 事務局長
14:10- 15:55	交通の脱炭素化の未来 モデレータ: 花岡 伸也 教授 気候変動は、交通の脱炭素化なくして止めることはできません。地球温暖化の原因となるエネルギー由来の二酸化炭素排出量のうち、交通機関による排出量の割合は約 23%です。早急に対策を講じなければ、その割合は 2030 年までに 40%にも達する可能性があります。交通部門の排出量は、過去 50 年間、他のどの部門よりも急速に増加しています。また、今後数十年間、交通の需要は大幅に増加し続けることが想定されます。その結果、交通活動に伴う二酸化炭素排出量は減少するどころか、2050 年までに 60%も増加する可能性があります。 このセッションでは、まずこのテーマに関連する 2 つのプレゼンテーションが行われます。その後、パネルディスカッションを行います。 最初のプレゼンテーションは、ITF が最も注力している政策領域の 1 つである脱炭素化に関する ITF の取組みについて紹介するものです。発表では、2050 年までの輸送需要と関連排出量の展開に関するシナリオを提供する旗艦出版物「ITF Transport Outlook」と、脱炭素化関連の政策カタログ Transport Climate Action Directory (TCAD) の分析に言及します。また、エジプトのシャルム・エル・シェイクで開催された COP27 (国連気候変動枠組条約第 27 回締約国会合) における交通の脱炭素化に関する最新の議論についても紹介しま

	<p>す。続いてのプレゼンテーションでは、脱炭素化の困難な分野の一つである国際海運及び国際航空分野における脱炭素化に関する政策課題について発表します。</p> <p>続くパネルディスカッションでは、プレゼンテーションを踏まえつつ、公共交通、徒歩、自転車などの持続可能な交通手段の強化・統合、交通分野を超えたステークホルダーグループとのパートナーシップや協力関係の強化、交通分野における公正な移行（Just transition）の支援などのため必要となる重要な政策指針に焦点を当て、議論を展開します。</p> <p>プレゼンテーション（40分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ ヤリ・カウピラ 氏, ITF 事務局長室長 「脱炭素化に向けた ITF の取組み」 ▪ 竹内 智仁 氏, 一般財団法人運輸総合研究所主任研究員 「国際海運・航空分野における脱炭素の実現に向けた課題」 <p>パネルディスカッション（65分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 藤原 章正 教授, EASTS-Japan 会長/広島大学教授 ▪ ヨンテ・キム 氏, ITF 事務局長 ▪ ヤリ・カウピラ 氏, ITF 事務局長室長 ▪ 竹内 智仁 氏, 一般財団法人運輸総合研究所主任研究員
<p>15:55- 16:00</p>	<p>閉会挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 兵藤 哲朗 教授, EASTS 事務局長/東京海洋大学教授

講演者・パネリスト

1. 開会挨拶・イントロダクション

花岡 伸也 氏

EASTS-Japan 事務局長/東京工業大学教授

東京工業大学環境・社会理工学院融合理工学系教授。東北大学で博士号を取得。運輸政策研究所の研究員・主任研究員、アジア工科大学院（バンコク）の助教授を経て、現職。研究テーマは、航空輸送、海上輸送、物流・ロジスティクス。これまでに130本以上の国際・国内学術論文を学術誌に発表。現在、EASTS-Japan 事務局長および EASTS の財務責任者を務めている。



山内 弘隆 氏

一般財団法人運輸総合研究所所長

一般財団法人運輸総合研究所所長、一橋大学名誉教授、武蔵野大学経営学部特任教授。慶應義塾大学大学院商学研究科修了。現在、EASTS-Japan の副会長を務める。専門分野は、応用ミクロ経済学、交通経済学、公共経済学、公益事業論、規制の経済学等である。現在、資源エネルギー庁総合資源エネルギー調査会委員、総務省情報通信審議会専門委員、国土交通省交通政策審議会臨時委員、財務省財政制度等審議会臨時委員等を務めている。日本交通学会賞を受賞した「航空輸送」を始め、交通経済学関係の多数の著作がある。



平岡 成哲 氏

国土交通省国際統括官

2022年から国土交通省国際統括官を務める。同省において、観光庁観光地域振興部長、航空局航空ネットワーク部長等を歴任したほか、直近では大臣官房総括審議官、内閣府総合海洋政策推進事務局長を務めた。

在米国日本国大使館参事官を務め、外交官としての経歴を有する。東京大学法学部卒業、ハーバード大学ケネディスクール公共政策大学院修士課程修了。



2. 基調講演

ヨンテ・キム 氏

国際交通フォーラム（ITF）事務局長



2022年5月19日に開催されたITF年次サミットで、加盟国の交通大臣の支持により再選を果たした。2017年8月から事務局長に就任している。

ITF事務局長に選出される以前は、キム博士は母国韓国の公務員として活躍し、直近では国土交通部（MOLIT）の局長を務めていた。2015年からは次長として、自動運転車、温室効果ガス削減、都市交通、高度道路交通システム、交通安全など、様々な交通政策の調整を担当した。

1994年、国土交通部に都市交通担当の課長補佐として入省後、住宅福祉、総合都市開発、海外インフラ整備などを担当する課長職を歴任した。1996年に行政改革委員会、2005年から2007年にかけては大統領府社会的包摂委員会に出向。2010年から2014年まで、韓国大使館の建設・交通・海事担当参事官としてワシントンD.C.に駐在した。

韓国のソウル大学で公共政策の修士号を、フランスのパリ大学ヴァンセンヌ・サン・ドニ校で都市学の修士号を取得。

また、フランス・パリ政治学院で政治社会学と公共政策の博士号を取得した。

母国語の韓国語のほか、英語、フランス語、スペイン語を流暢に話す。

3. パネルディスカッション

ヤリ・カウピラ 氏

ITF事務局長室長



ヤリ・カウピラ博士は、OECD国際交通フォーラム（ITF）でITF事務局長室長兼定量的政策分析・予測部門長を務めている。

ITFの主要刊行物である「Transport Outlook」や定量的モデルの開発、関連分析などを担当。

2007年にITFで勤務を開始以降、シェアードモビリティ、ロジスティクス、輸送の信頼性、脱炭素化、交通安全、インフラ投資などのテーマで、いくつかの国際研究プロジェクトのコーディネーションも行っている。

2007年以前は、フィンランド運輸通信省に10年近く勤務していた。

ITFでの職務の傍ら、フィンランドのトゥルク経済大学オペレーション・サプライチェーンマネジメント学部で交通経済学の非常勤教授も務める。

母国語のフィンランド語に加え、英語、スウェーデン語、フランス語を流暢に話す。

竹内 智仁 氏

一般財団法人運輸総合研究所主任研究員

2022年5月に国土交通省から運輸総合研究所に出向、主任研究員として交通分野におけるカーボンニュートラル政策に関する調査研究事業を統括している。

1995年に国土交通省入省後、主に海事分野における安全、環境保全、産業振興政策を担当。2020年9月に日本海事協会に出向し、企画・調整担当部長として国際海運の脱炭素化に向けた企画立案及び一般財団法人次世代環境船舶開発センター（GSC）の設立に携わった。横浜国立大学大学院修士課程修了（船舶工学）。



藤原 章正 氏

EASTS-Japan 会長/広島大学教授

広島大学大学院先進理工系科学研究科教授。広島大学で工学博士号を取得後、東京大学、インペリアル・カレッジ・ロンドンの客員研究員等を経て、2002年に広島大学教授に就任。現在、EASTS-Japan 会長、土木学会副会長を務める。研究領域は、アクティビティ・ベース交通需要モデル、持続可能な都市・地域開発、革新的都市交通技術の評価・設計など広く交通関連分野をカバーしている。多くの論文を執筆し、2005年 EASTS 最優秀論文賞をはじめとして、多くの論文賞を受賞している。



参加者向け情報

会場での参加およびオンラインでの参加登録

本セミナーは、会場参加及びオンライン参加のハイブリッドにて実施されます。会場参加、オンライン参加ともに事前登録が必要です。登録後、セミナー参加方法に関する情報を記載した確認メールが届きます。なお、会場での参加希望については、会場の定員数に達し次第、締め切らせていただきます。

セミナーへの参加登録用のリンク:以下のリンク先に必要情報を記入し、ご登録ください。

<https://forms.gle/EaS2dhmLfwobLxZQ9>

登録に関する問い合わせ先:

hattori.n.ad@m.titech.ac.jp

一橋大学一橋講堂へのアクセス情報

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2 学術総合センター2階

<https://www.hit-u.ac.jp/hall/accessjp.html>

オンラインでの参加に役立つ情報

マイク付きヘッドセットまたはエコーキャンセラー付きオーディオシステムを推奨します。また、有線でのインターネット接続を推奨します。オンライン参加者は、会議中、マイクをミュートに設定ください。

個人情報保護

OECD は、個人情報保護規則に基づき、個人情報を取り扱います。

<https://www.oecd.org/general/data-protection.htm>

EASTS（アジア交通学会）は、1994年11月に設立されました。オーストラリア、カンボジア、中国、香港、インドネシア、日本、韓国、ラオス、マレーシア、モンゴル、ミャンマー、ネパール、ニュージーランド、フィリピン、シンガポール、スリランカ、台湾、タイ、ベトナムの19カ国・地域の学会が加盟しています。EASTSの会長は、Korea Transport Institute会長のJaehak Oh博士が務めています。

本学会の主な目的は、優れた交通研究と実践を育成・支援し、交通のあらゆる側面およびモードにおける専門家の交流を活性化することです。本学会の主要な活動のひとつに、2年ごとの国際会議の開催があります。1995年にマニラで開催された第1回会議以来、14回の会議が開催されています。第15回大会は、2023年9月4日から7日まで、マレーシア・クアラルンプールにて開催される予定です。



アジア交通学会 (EASTS)

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19
運輸総合研究所気付
電話: +81-3-5470-8405
Fax: +81-3-5470-8401
easts@easts.info
<http://easts.info/>



国際交通フォーラム (ITF)

2 rue André Pascal
F-75775 Paris Cedex 16
+33 (0)1 73 31 25 00
contact@itf-oecd.org
www.itf-oecd.org